

水産資源の現状と今わたしたちができること

2008年10月9日

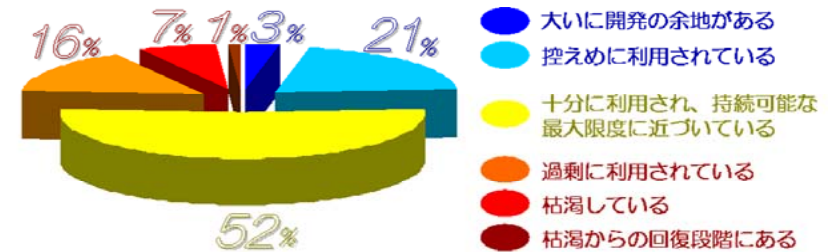
アマタ持続可能経済研究所 自然産業部
部長 主席研究員 有路昌彦

AISE

Copyright © 2008 AMITA CORPORATION, All Rights Reserved.



世界的な水産資源の危機



世界の水産資源の状況 (国連食糧農業機関, 2004)

52%・・・生物学的に資源を維持できる限界量

16%・・・過剰漁獲状態

7%・・・資源枯渇状態

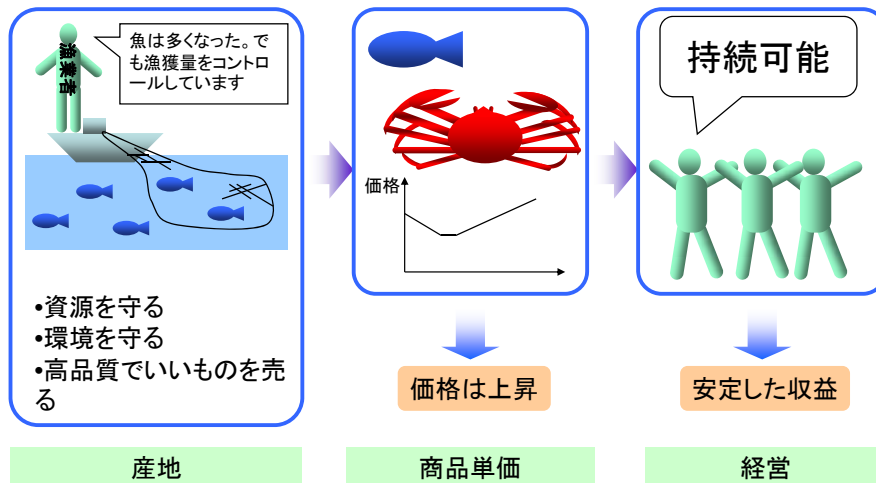
4分の3が限度以上の利用

AISE

Copyright © 2008 AMITA CORPORATION, All Rights Reserved.

持続可能な漁業がみんなに必要

3



このように**持続的な漁業**にしていくことが世界にとって必要

AISE

Copyright © 2008 AMITA CORPORATION, All Rights Reserved.

京都底連はここまで守っている

4

生態系への直接インパクトを減らす

- ・漁獲行為が環境へ与える影響を減らす
- ・ベントスへの影響も最小限にする
- ・食う食われるの関係も配慮する
- ・偏った漁獲をしていない
- ・雌雄比は保たれている
- ・それに対し科学的な知見がある

海の環境自体も健康な状態にします



ただ漁獲量を規制するだけではなく、環境も守って初めて持続可能になります

AISE

Copyright © 2008 AMITA CORPORATION, All Rights Reserved.

ここまで環境
と資源を守り
ます



混獲(Bycatch)を減らす

- ・漁獲対象以外の生物をいかに殺さないか
- ・Byproductも記録と管理が必要
- ・改良網を使う

投棄(Discard)を減らす

- ・漁獲ではない資源へのインパクト
- ・これも資源管理に含めないといけない

Ghost fishingを減らす

- ・逸失漁具による漁獲をなくす
- ・資源・環境への無駄な圧力をなくす

国際的な管
理の枠組み
で資源が守ら
れます



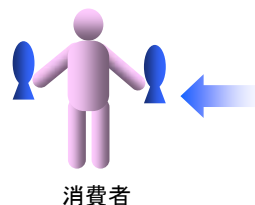
資源管理上IUUをなくす

- ・同一資源をとっているIUUをなくす
- ・管理ができないような漁業者はなくす
- ・国際的に取り締まる
- ・お互いに管理しあう
- ・ルールをみんなで守る
- ・資源が結果的に回復する状況にする

京都機船底曳網漁業連合会様の取り組みは
世界的に認められる高水準なものです

違いがわからないから安いほう
をかうのは当たり前

なぜ漁業を管理するだけでは
十分でないのか



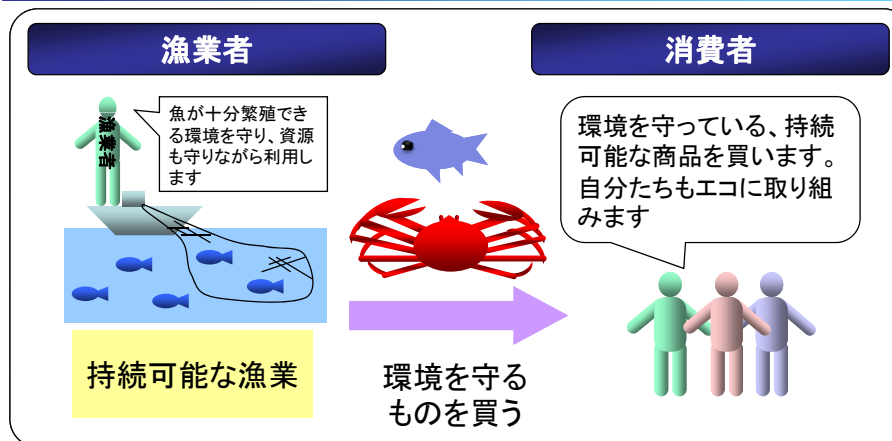
消費者

- ・商品の区別がない
- ・安いのをかうのは合理的
- ・そこには環境保全と資源管理の費用は入っていない

消費者の「合理的行動」の結果である

先取り競争と区別できない状態での消費者の購買行動によって環境も資源も守られない

資源を守る漁業者を「選べる仕組み」が必要



このような関係を用いて、**消費者の力**を利用して(またはその部分をコントロールして)持続可能な漁業を構築する方法である。

このたびの京都底連様のMSC漁業認証の取得は
日本初というだけでなく、アジア初です



生産者だけでなく消費者・生活者が、資源や環境を
守ることに参加できるようになったということです



持続可能な水産物の需給が可能になる、
社会にとって大きな第一歩です